



生誕50年2009根室かに祭り 根室名物の「花咲がに」を楽しもうと会場は大勢の市民や観光客でにぎわい、「早喰い競争」や「歌謡ショー」などの華やかなステージで盛り上がりました。(9月5日:根室港特設会場)



根室いきいき芸能まつり 歌や踊りなど、高齢者による元気いっぱいの発表に、会場から多くの拍手が送られました。敬老セレモニーでは、小学生による作文朗読も行われ、日ごろの感謝が伝えられました。(9月15日:総合文化会館)



第5回北方領土まで歩こう会 北方領土の早期返還を願い、1,143人のウォーカーが根室半島の自然を満喫しながらゴールの納沙布岬を目指し、島までの距離を実際に体感しました。(9月6日:瑠瑠瑠)



“どさんこきゃらばん”がやって来た! STV「どさんこワイド」の生中継に集まった市民が、根室の味覚を代表するサンマや花咲がにの魅力、カメラに向かい元気いっぱいに紹介する姿が放映されました。(9月4日:花咲港)

春国岱原生野鳥公園
ネイチャーセンター

NC通信

〒086-0074
根室市東梅103番地
☎25-3047

秋の訪れ

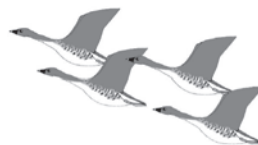
秋、緑色の丘が連なる牧草地に、暗褐色の塊が次々と舞い降ります。長い旅の途中に、羽を休めに訪れたヒシクイたちです。シベリアなどで子育てを終えたヒシクイが、越冬地である日本にやってきたのです。風蓮湖周辺に11月初旬ころまでとどまり、冬が近づくにつれ徐々に南下し、宮城県の伊豆沼などで冬を越します。

槍昔や奥行付近の牧草地には、多い時で数百羽のヒシクイが集まります。風蓮湖から牧草地へ、牧草地から風蓮湖へと隊列を組んで飛んでいきます。全長が約90cmもある大型のカモの仲間ですが、地面に下りて

しまうと見つけにくくなります。特に刈り取った後のデントコーン畑など、土が現れているような場所では暗褐色の体が見事に同化して、遠くから見ると分からなくなります。

ヒシクイは牧草地に下りて、刈り取った後に伸びた牧草の芽などを食べています。体の大きなヒシクイですが、主な食べ物は植物で、名前の由来となっているのもヒシという水草です。ヒシクイはヒシの実を食べますが、その実は硬い殻に包まれ、さらには2本のとげに守られています。近縁種のオニビシの実も、忍者が“まきびし”として使ったといわれています。

日本には、大きく分けてヒシクイ、オオヒシクイの2亜種が渡来します。どちらも数が減り、特にヒシクイは絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。今年もヒシクイの来訪が、秋の訪れを教えてください。



(レンジャー 手嶋 洋子)